

用語等の解説

返還ガラス固化体

- ・日本の電力会社は、原子力発電所で発生した使用済燃料を、過去に仏国と英国の再処理工場で再処理して、再び燃料として有効利用するため、ウランやプルトニウムを回収している。この再処理の際に分離される高レベル放射性廃棄物は、ガラスと混合して固化体の形態とし、日本へ返還されている。

廃棄物管理施設

- ・ガラス固化体を最終処分されるまでの期間（30年～50年）冷却・保管する、青森県六ヶ所村の日本原燃の施設。

仏国AREVA NC

- ・原子力施設の建設等を行う原子力産業複合企業である、仏国 AREVA 社傘下の核燃料加工と再処理工場を操業する企業。

英国NDA

- ・2005年4月1日に設立された英国の機関で、同国内の稼働を終えた原子力発電所の廃止や再処理工場の管理を実施する。

Sellafield Ltd

- ・英国 NDA 傘下のセラフィールド核燃料再処理工場を操業する企業。

AVM (Atelier Vittrification de Marcoule) 法

- ・仏国で実用化された、高レベル放射性液体廃棄物をガラスとともに熔融後、ステンレス鋼製容器に注入、固化する方法。

ルテニウム捕集材

- ・ガラス固化体から放射性物質が漏れていないことを確認する検査で使用される、シリカゲルでできた捕集材で、高レベル放射性廃棄物に含まれる揮発性ルテニウムの放射性物質を吸着する性質がある。

以上